

新規

申請者	山形県高島町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	96,780千円 (31,760千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	高島町では、人口減少と少子高齢化の進行により、生産年齢人口の減少や地域産業の担い手不足が深刻化している。これまで二拠点居住やデュアルスクール等により関係人口の創出を進めてきたが、地域との関わりが一過性にどまり、地域産業や雇用に十分結び付いていないという課題が明らかとなっている。 本事業は、関係人口を地域産業・雇用と結び付け、「関わり」から「仕事」へと段階的につなぐ人材循環の仕組みを構築することで、人口減少社会に適応した持続可能な地域構造への転換を図ることを目的とする。 関係人口が地域企業の現場に継続的に関与する機会を創出することで、地元企業における人材確保力や新たな価値創出力の向上を図るとともに、将来的な就業、二拠点居住、移住等につながる関係性の定着を促進する。あわせて、地域内外の人材が循環・共創する仕組みを確立することで、地域産業の持続性向上と地域経済の活性化を実現する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 関係人口と地元企業をつなぐ「たかはた人材循環・共創プロジェクト」を実施。地元企業の受入体制整備、インターンシップやスタディツアーの実施、関係人口と企業のマッチング体制構築、情報発信・プロモーションを一体的に進め、関係人口の創出から参画、定着へと段階的に展開する。 事業期間は令和8年度から令和10年度までの3か年とし、 ・初年度：基盤整備期（仕組みをつくる年） ・2年目：実装・拡充期（仕組みを回す年） ・3年目：定着・発展期（仕組みを育てる年） という段階構成により、事業終了後も地域主体で継続可能な人材循環モデルの確立を目指す。 【R8年度事業 経費内訳】 ・関係人口が参加できるインターン候補企業の発掘事業(3,410千円) ・大学生参加型・地元企業インターンシップ実証事業(2,860千円) ・地元企業PR×高校生スタディツアー事業(2,640千円) ・関係人口と地元企業のマッチング体制構築事業(3,740千円) ・関係人口向けポータルサイトの調査・要件定義事業(2,310千円) ・首都圏向けプロモーション・情報発信事業(16,800千円)						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン数（+8組） ②地元企業インターンシップ・スタディツアー等への延べ参加者数（+30人） ③首都圏教育機関・企業との協定・覚書・継続的連携関係の構築数（+8件） ④インターンシップなどの受入参画企業数（+7社）						